

☆☆☆ JRKU
第71号

JR九州ユニオン

福岡市博多区博多駅東2丁目13-21
GSハイム博多805号
TEL 092-415-4377
FAX 092-415-4399
発行人 縫 和 彦
編集人 田 中 勇

第27回臨時大会開催！

15項目の制度・政策要求提出！



本部は二月七日第二七回臨時大会を福岡市において開催しました。議長には大分地本石本代議員、熊本地本下山代議員が選出されました。一三名の代議員より、人事・賃金制度改正、嘱託裁判等、組合費改訂等、活潑な発言がなされました。

縫 和彦

中央執行委員長挨拶

臨時大会に参加されました代議員・傍聴者の皆さん、大変お疲れ様です。また、お忙しいなか掛けつけていただきましたOB会の皆さまに心より感謝を申し上げます。

今年も正月早々、能登半島地震が発生し大変な1年になりました。お亡くなりになりなされた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々の心からお見舞い申し上げます。

ウクライナ侵攻も3年目に突入しようとしています。戦争終結の目途も立たない状況です。ガサ紛争でも多くの死者や負傷者が出ています。戦争に、「正義」などなく、権力者の傲慢を止められない国際社会の現実に憤りと無力さを感じます。

一方、岸田政権は「裏金問題」で派閥幹部の辞任や一部議員の逮捕により追い詰められています。『派閥』の解散が本題ではありません。私たちは、しっかり動向を見極め、たとえ微力でも、声をあげ続け、連帯できることは積極的に行っていきたいと思えます。

今臨時大会で勝ち取るべき課題について提起いたします。

一つは、平和・人権・民主主義をしっかりと守っていきましょう！

次期衆議院選で大分2区『吉川はじめ』候補の当選を目指していきましょう。

二つ目は、24春闘勝利を目指し。

「共に動く」運動を強化しよう！

4月からの「人事賃金制度」が変更されます。2〜3万円の賃金改訂で春闘を終わりにさせるわけにはいきません。

三つ目は「人にやさしい鉄道づくり」を具体化しよう！

停目の統一、自動運転問題、肥薩線復旧等、九州運輸局や省庁要請行動を検討しながら、安全と労働条件を守るため取り組みを進めていく。

四つ目は、嘱託再雇用社員の賃金・労働条件改善について！

証人尋問が始まります。15名の仲間への支援・連帯を強化していきましょう。

最後に、ユニオン運動・組織の今後について！

我々はユニオン組織を存続させるために、一人ひとり何が出来たのか、組織と運動を若い仲間を引き継ぐため、組合費の改訂にご理解とご協力をお願いいたします。真摯な議論をおねがいします。

◆代議員発言
直轄支部

・組合費改訂について、嘱託裁判、労働条件改善、会社と闘うユニオンは必要だ。

・職場で年休調査を行なっている。会社行事等で1番でも取得できない。1日平均7名が取れなければならぬ。

・多くの職場要求が改善できた。

・労災に対して年休処理で休めと言ってきたが、基本はどの様にすべきか。

・高齢者交番、現在は他の行路と変化はない。

・65歳からの功労金を増額へ。

・12月安全集会を開催して来た。小波瀬西工大前のホームの隙間を本部でも交渉して欲しい。

・職場で3労組で停目の統一要求を出してきた。

・自動運転に対して、多くの問題を含んでいる。乗客に迷惑をかけないようにすべきだ。

・組織拡大を目指して行く。

◆大分地本

・組合費改訂について、日

勤者の卒直な意見を聞いてきた。議論を深めていきたい。

・春闘について、会社は人事賃金の事しか言わない、ベアと区別して闘おう。

・エリア限定制度で若い人の不満や採用に対してJR九州イメージが悪い。

・嘱託裁判、カンパへのお礼を申し上げる。

・日勤教育の見極めで出区点検が行われている。事故と関係が無いのではないのか。懲罰的な見極めは廃止すべきだ。

・専門協の日程について、申も出さないうちに日程を言ってくる。問題がある。

・広木駅事故を受けて、両数を変えるだけで事故が起らないように提案を出してきた。

・乗務員による、乗泊清掃等元に戻すべきだある。

・エリア限定による転勤問題、人事賃金等職場で歪が出てくる。

・能登半島地震や裁判カンパを取り組んで来た。

・肥薩線復旧について、人吉号の迎えを行なってきた。沿線住民と共に運動を広げていかなければならぬ。

・手書き情報等を数多く出してきた。

・訴訟団カンパのお礼を申し上げる。2月4月人証尋問が始まる。会社は、「高齢者交番」・「緊急呼出が無い」・「転勤が無い」・「特休が多い」と社員との違いを主張しているが、すべてにおいて嘱託との違いはない。特休増は訴訟後である。

・能登半島地震支援の物販を協力して欲しい。

・佐世保地区でOB連絡会を結成していく。

・訓練で2時間、本来の訓練時間を確保して欲しい。

◆鹿児島地本

・組合費の改訂について、生活面の負担で意見が出たが、財政の健全化が必要である。

・広木駅事故で広木駅の停目は統一したが会社の動きが遅い。対策として反復喚呼が増えた。停目の統一やGPSの整備が必要となる。

・若い社員は、ネコカリで駅での特改、超勤で対応している。車掌の解消で運賃収受はザル状態を分かっている。

いたはずだ。

◆本部答弁

・職場からの取り組みに感謝を申し上げる。出された意見は闘争申で会社へ出していく。

◆岩谷文之 書記長
総括答弁

・臨時大会の意義を確認していききたい。今後職場にユニオン運動を残すための臨時大会であった。

・広木駅事故、停目の調査を引き続き行って欲しい。

・人証尋問への取り組み、支援・連帯して欲しい。

・24春闘、人事賃金制度の改正でありベアではないことを訴えていこう。

・本部は、回答山場へ向けて常駐体制を取っていく。各職場も集会等を開いて欲しい。本部も参加していく。

*第1号議案から第6議案 組合費の改訂含め当面する取り組みを全体で確認しました。

*岩崎正登会計監査は2月末の退職を受け、新たに、藤本和彦氏(唐津支部)の立候補を受け会計監査となりました。

24春闘を勝利しよう!

